

【都道府県用中間報告書様式】

都道府県番号	34
都道府県名	広島県

【広島県教育委員会における学力向上フロンティア事業の取組み】

I. 学力向上推進地域名及び学校数, 学力向上フロンティアスクール数

学力向上推進地域名	小学校 (うちフロンティアスクール)	中学校 (うちフロンティアスクール)	計 (うちフロンティアスクール)
広島県学力向上推進地域	612 (14)	252 (8)	868 (22)

II. 学力向上推進協議会（地区協議会）の設置数及び域内の学校数

地区協議会名	小学校 (うちフロンティアスクール数)	中学校 (うちフロンティアスクール数)	計 (うちフロンティアスクール数)
①広島地区協議会 (大竹市, 廿日市市, 大野町, 湯来町, 宮島町)	30 (2)	16 (1)	46 (3)
②呉・賀茂(南)地区協議会 (安浦町, 呉市, 江田島町, 音戸町, 倉橋町, 下蒲刈町, 蒲刈町, 能美町, 沖美町, 大柿町, 川尻町, 豊浜町, 豊町)	76 (2)	36 (1)	112 (3)
③呉・賀茂(北)地区協議会 (東広島市, 府中町, 海田町, 熊野町, 坂町, 黒瀬町, 福富町, 豊栄町, 大和町, 河内町)	54 (3)	20 (1)	74 (4)
④芸北地区協議会 (加計町, 筒賀村, 戸河内町, 芸北町, 大朝町, 千代田町, 豊平町, 吉田町, 八千代町, 美土里町, 高宮町, 甲田町, 向原町)	45 (1)	14 (1)	59 (2)
⑤尾三地区協議会 (竹原市, 三原市, 尾道市, 因島市, 本郷町, 安芸津町, 大崎町, 東野町, 木江町, 瀬戸田町, 御調町, 久井町, 向島町, 甲山町, 世羅町, 世羅西町)	99 (3)	41 (1)	140 (4)
⑥福山地区協議会 (福山市, 府中市, 沼隈町, 神辺町, 油木町, 神石町, 豊松村, 三和町)	100 (1)	43 (1)	143 (2)
⑦備北地区協議会 (三次市, 庄原市, 上下町, 総領町, 甲奴町, 君田村, 布野村, 作木村, 吉舎町, 三良坂町, 三和町, 西城町, 東城町, 口和町, 高野町, 比和町)	72 (1)	22 (1)	94 (2)
⑧広島市地区協議会 (広島市)	136 (1)	60 (1)	196 (2)

Ⅲ. 広島県教育委員会としての支援策

○地区別協議会に対して

- 1 各フロンティアスクールの担当指導主事を定め、専門的見地から指導・助言及び評価を行い、研究推進状況を管理する。
- 2 各教育事務所及び広島市を基本単位とした地区協議会を設置し、フロンティアスクールの研究推進及び研究成果の地区内への普及を支援する。
- 3 中学校区による指定により、小・中連携の取組みなど校種間連携による研究推進を行う。

○域内の学校（学力向上フロンティアスクール含む）に対して

- 1 学力向上フロンティアスクール中間報告集の作成及び配布（第3回広島県学力向上推進協議会において）
- 2 基礎学力定着研究校研究成果発表会の実施（県内約400名参加）
- 3 「授業改善のための校内研修ハンドブック ～マネジメントを取り入れた校内研修の在り方を求めて～」平成15年3月に県内公立小・中・高等学校及び盲・ろう・養護学校へ配布

Ⅳ. 学力把握のための広島県の取組みについて

県内全公立小・中学校の児童生徒に対し「基礎・基本」定着状況調査の実施
小学校第5学年及び中学校第2学年（年1回 6月）

Ⅴ. 学力向上推進協議会について

○開催時期（参加対象）

- （第1回） 7月（校長、教頭、教員、市町村教育委員会関係者、指導主事）
- （第2回） 12月（校長、教頭、教員、指導主事）
- （第3回） 2月（校長、教頭、教員、市町村教育委員会関係者、指導主事）

○テーマと主な協議内容（協議のなかで提示された成果や課題など）

（第1回）「学力向上のための実践研究の在り方」

- ・ 広島大学教授による講話により具体的な研究の進め方を示した。
- ・ 先進校の研究報告により研究のための推進体制、研究の実際を明らかにした。

（第2回）「中間報告書作成に向けて研究の進捗状況」

- ・ 各学力向上フロンティアスクールにおける研究の進捗状況の交流を行った。
- ・ 3分科会に分かれて意見交流を実施し、研究を深めるための指導・助言を行った。
- ・ 学校間に研究の格差が出てきた。

（第3回）「研究報告会」

- ・ 他県の研究先進校の話を知るとともに、各校が協議を行うなかで、今後の研究の方向性を明らかにした。
- ・ 一定の成果は出ているが、特色ある研究になっていない学校についての指導の必要性が明らかになった。

VI. 事業計画書において示した「事業評価の実施方法・内容」とその進捗状況

(事業評価の実施方法・内容)

- ・ 各フロンティアスクールに対して、年度当初に研究推進計画の提出を求める。研究推進計画には、到達度テストの結果や児童生徒の学習時間等の数値化できる項目については数値目標を記載させるとともに、できるだけ具体的な成果指標を記載させるようにする。
- ・ 各フロンティアスクールの担当指導主事は、研究推進計画をもとに、研究の進捗状況を随時評価する。
- ・ 年度末には、研究推進計画に基づき、各フロンティアスクールが自己評価するとともに、担当指導主事による評価を行い、次年度への課題を整理することにより、事業計画の改善を図る。

(進捗状況)

- ・ 研究推進計画は、6月に各学力向上フロンティアスクールに提出を求めた。
- ・ 各学力向上フロンティアスクールは「基礎・基本」定着状況調査や標準学力調査を実施することにより、児童生徒の学力実態を明らかにしている。
- ・ 成果指標作成にあたっては、必要な事項について児童生徒等にアンケートを実施し、指標の作成も試みている。
- ・ 指導第一課指導主事及び各教育事務所指導主事が訪問指導を行い、研究の仕方の指導を行うとともに、適切な評価を実施している。研究が進んでいないフロンティアスクールについては教育事務所等が随時指導を行っている。
- ・ 各学力向上フロンティアスクールの研究報告書に成果と課題を明記させ、次年度の課題解決のための具体的な取組みを明らかにさせている。
- ・ 第3回広島県学力向上推進協議会により、自校の研究の課題を出し合い協議することにより、事業計画の見直しを図っている。

【地区別協議会における特色ある取組み】

(地区内の学校に対する支援策)

- ・ 1年次研究紀要作成配布（呉・賀茂南地区協議会）
- ・ 地区協議会の取組みをまとめたホームページ作成（広島地区協議会）
- ・ 小中一貫9カ年のカリキュラム作成（福山地区協議会）
- ・ 幼稚園、小学校、中学校と一貫した基本的な生活習慣の育成のための「学びの環境づくり」作成（芸北地区協議会）

(実践研究の成果の普及方策)

- ・ 各学力向上フロンティアスクールにおける研究会等の発表会の支援（各地区協議会）